

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-48041 (P2003-48041A)

【公開日】平成 15 年 2 月 18 日 (2003.2.18)

【出願番号】特願 2002-137764 (P2002-137764)

【国際特許分類第 7 版】

B 2 2 C 9/10

B 2 2 C 3/00

B 2 2 C 9/04

B 2 2 C 9/24

C 0 4 B 41/85

F 0 2 C 7/00

【F I】

B 2 2 C 9/10 F

B 2 2 C 9/10 J

B 2 2 C 3/00 B

B 2 2 C 9/04 K

B 2 2 C 9/24 C

C 0 4 B 41/85 E

F 0 2 C 7/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶融された金属材料の鑄造に使用される、焼成された多孔性のアルミナ系セラミック中子进行处理する方法であって、

前記中子にイットリアを含浸して高い鑄造温度における前記中子のクリープ抵抗を改善することを含む方法。

【請求項 2】

前記中子は、コロイド状のイットリアに該中子を浸漬することによって、含浸される請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

含浸された、焼成された多孔性のアルミナ系中子であって、前記中子の孔にイットリア含浸剤を含み、

含浸されてない焼成された多孔性のアルミナ系中子と比較して、高い鑄造温度においてクリープ抵抗における相当な増加を示す中子。

【請求項 4】

前記中子の前記孔における前記イットリア含浸剤は、前記中子の約 1 重量% から約 5 重量% までの量で存在する請求項 3 記載の中子。